

愛・誠・勇

福島市立福島第三小学校

令和元年度『学校だより』

第10号 R元, 8, 28

校長 佐藤 秀美

文責 教務主任 齋藤 康則

授業参観・懇談会

27日(火)に行われた「授業参観」には、お忙しい中、多数ご来校いただき、ありがとうございました。全学級「道徳」の授業を行いました。いかがでしたでしょうか。

「道徳授業参観のしおり」にもありましたとおり、昨年度より「道徳科」となりましたが、道徳的価値について学び、考えを深める学習は従来通りです。今回の参観を機会にご家庭でも道徳に関わることについて話し合いを深めていただければと思います。よろしくお願いいたします。



ハッピーコーナー

本日お知らせの部・委員会
環境委員会

○ 奉仕作業の御礼【環境委員会】

8月24日(土)に行われた奉仕作業には、朝早くから多数の方に参加いただき、ありがとうございました。約90名の保護者の方と60名ほどの児童、教職員あわせて180名ほどで、校庭や学校周辺の「除草」「石拾い」「ゴミ拾い」を行い、すっかりきれいな環境になりました。ありがとうございました。



子育ては母親の仕事、 そう思っているお父さんは要注意。

家庭での父親の存在感が薄いことが指摘されています。母親だけに子育ての責任がゆだねられ、父親の理解や協力がなままでは、母親の子育てに対する不安感や負担感が増したり、母と子の関係が密着しすぎたりすることにつながる心配があります。

父親がもっと家庭の中での役割を積極的に担い、夫婦でしつけについてよく話し合っていくことが大切です。そのためにも、夫婦はお互いに尊重し合い、子どもの前で相手をけなしたり、見下したりすることのないように気をつけましょう。



夫婦で共同して子育てをする

話せばわかるとは限らないが、 話さなければもつとわからない。

夫婦の間、親子の間での会話を増やしていくことが、家庭づくりのすべての基礎になります。ほんとうは夫婦でも親子でも何でも話せる仲でありたいものです。

日々の会話を増やすには、できるだけ一緒に食事をし、お互いにその日にあったことを話すとか、一緒に家事をしたりスポーツをしたり、また地域のボランティア活動に参加したりする、などの工夫をすることが大切です。

また、思春期になると、男女とも身体が急速に成長し始めます。不安やとまどいなどがなくないよう、身体の変化について話してあげることが大切です。



会話を増やし、きずな家族の絆を深める